

# 「仙台市みどりの基本計画」の 改定について

令和元年11月25日 第84回杜の都の環境をつくる審議会  
建設局 百年の杜推進部 百年の杜推進課

## 目次

1. 改定の趣旨
2. 仙台市みどりの基本計画とは
3. 現計画の振り返り
4. 社会情勢の変化など
5. 本市のみどりの特徴
6. みどりに関する市民意識
7. 現計画改定の視点(案)
8. 今後のスケジュール・専門部会の設置(案)

# 1.改定の趣旨

- ・現在の「仙台市みどりの基本計画」の計画期間が令和2年度までである
- ・上位計画であり、同じく令和2年度が期限である仙台市総合計画やその他の関連計画についても改定作業が進められており、それらと整合を図る必要がある
- ・本市のみどりを取り巻く社会情勢の変化への対応が必要である

# 2.仙台市みどりの基本計画とは

## (1) 緑の基本計画とは

- ・都市緑地法第4条に定められた緑のまちづくりを推進していくための計画
- ・本市では、杜の都の環境をつくる条例第10条に緑の基本計画の策定を明記

## (2) 計画の位置づけ・計画期間



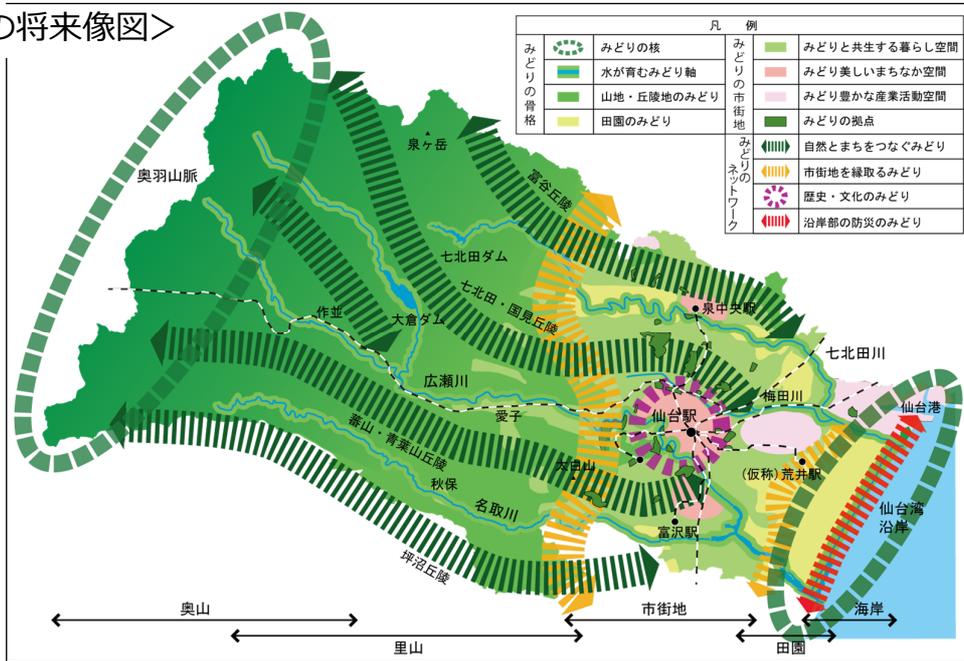
- ・計画期間について：総合計画及び関連計画と調整の上、決定する

### 3. 現計画の振り返り

#### (1) 基本理念

#### みんなで育む「百年の杜」

〈みどりの将来像図〉



### 3. 現計画の振り返り

#### (2) 計画目標

みどりの機能の維持増進を図ること及び、みどりの適正な配置により、みどりの構造を充実させるという観点から、本計画の目標は「質の目標」と「量の目標」を設定

質の目標	安全安心	自然災害を防ぎ、被害を軽減する「みどりの質」を高める
	自然環境	生物多様性の保全や地球温暖化の緩和に寄与する「みどりの質」を高める
	生活環境	市民ニーズに対応し、快適な暮らしを支える「みどりの質」を高める
	仙台らしさ	歴史や文化と調和し、仙台らしさを表す「みどりの質」を高める
	市民協働	市民が仙台のみどりを地域の誇りと感じ、様々な主体が連携してみどりの活動を行う「みどりの活動環境の質」を高める

量の目標	評価対象	指標	基準値	目標（令和2年度）
	市域全域	みどりの総量（緑被率）	78.8%	維持・向上
	都市計画区域	都市公園等の1人当たり面積	15.8㎡	20㎡
		都市公園の1人当たり面積	12.8㎡	17㎡
	市街化区域	市街地のみどりの総量（緑被率）	29.8%	維持・向上
担保性のある緑地の面積		約2,200ha	250ha増加	

※都市公園等：都市公園及び公開されている公共施設で都市公園と類似する施設 例) 屋外運動施設、児童遊園、港湾緑地、文化財関係施設、生涯学習施設など

※担保性のある緑地：都市公園等（施設緑地）及び地域制の緑地 例) 都市公園等、風致地区、特別緑地保全地区、保存緑地など

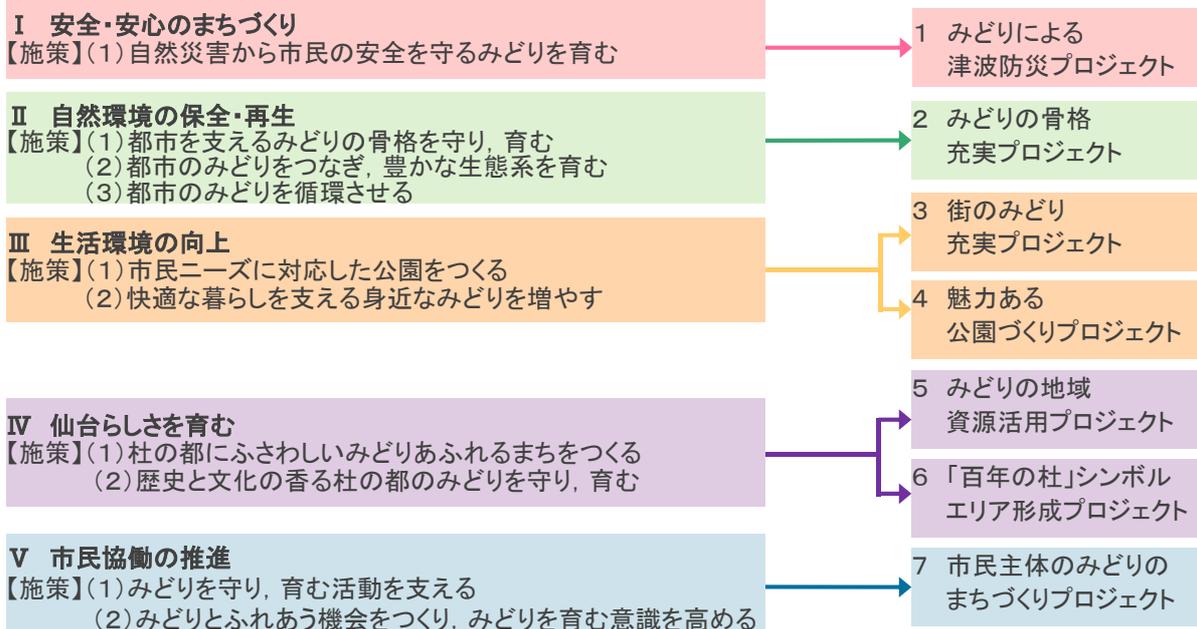
※現況は、平成22年度の値であるが、みどりの総量については、平成21年度の値を示している

### 3. 現計画の振り返り

#### (3) 計画の構成

【基本方針と具体的な施策】

【百年の杜づくりプロジェクト】  
(重点的に取組む施策)



### 3. 現計画の振り返り

#### (4) 目標の達成状況 (質の目標)

質の目標	百年の杜づくりPJ成果指標	基準値	目標値	現況値	評価
安全安心 (みどりによる津波防災PJ)	海岸防災林の植林面積 (国による民有林直轄治山事業等)	-	対象面積全て (141.0ha)	105.21ha /7年	○
	海岸公園の開園面積	-	一部開園	開園面積37.5ha (事業完了)	◎
自然環境 (みどりの骨格充実PJ)	二酸化炭素固定量	平成22年度 30,289t/年	42,560t/年	平成30年度 36,815 t/年	△
	身近な生き物の認識度	平成22年度 9種合計中440.7%	現在より向上	令和元年度(速報値) 9種合計中505.3%	◎
生活環境 (街のみどり充実PJ, 魅力ある公園づくりPJ)	市街化区域内の民有地の緑化面積	平成22年度 21.86ha	50ha増/9年	平成30年度 45.5ha増/7年	○
	市街化区域内の樹林地面積	平成21年度 3,836ha	現状維持	平成26年度 3,757ha	△
	街区公園整備・再整備箇所数	平成22年度 45箇所	450箇所/9年	平成30年度 253箇所/7年	△
	市民の公園利用頻度	-	現在より向上*	令和元年度 調査予定	-
仙台らしさ (みどりの地域資源活用PJ, 「百年の杜」シンボルエリア形成PJ)	保全制度による屋敷林・鎮守の杜の新規保全箇所数	平成22年度時点 2箇所	10箇所増/9年	令和元年度(速報値) 8箇所増/8年	○
	百年の杜ホームページのアクセス数	平成22年度 62,324件/年	120,000件/年	平成30年度 103,192件/年	○
	仙台都心部緑化重点地区内緑被率	平成21年度 11.7%	13%	平成26年度 13.5%	◎
	仙台都心部10路線平均緑視率	平成20年度 26.8%	30%	平成26年度 31.7%	◎
市民協働 (市民主体のみどりのまちづくりPJ)	みどりの市民活動団体主催の市民向けイベント数	平成22年度 193件/年	1,500件/9年	平成30年度 811件/7年	△
	みどりの活動を行う事業者数	平成21年度 248事業者/年	2,300事業者/9年	平成30年度 2,483事業者/7年	◎

※平成24年度市民意識調査結果

【凡例】 ◎: 目標を達成 ○: 目標達成に向けて順調 △: 目標達成が困難 8

### 3. 現計画の振り返り

#### (5) 目標の達成状況（量の目標）

評価対象	指 標	基準値 (平成22年度)	目標値	現況値 (平成30年度)	評価
市域全域	みどりの総量 (緑被率)	78.8%※1	維持・向上	79.3%※2	◎
都市計画区域	都市公園等の 一人当たり面積	15.8㎡	20㎡	18.5㎡	△
	都市公園の 一人当たり面積	12.8㎡	17㎡	15.4㎡	△
市街化区域	市街地のみどりの 総量（緑被率）	29.8%※1	維持・向上	32.1%※2	◎
	担保性のある 緑地の面積	約2,200haから 250ha増加	250ha増	226.94ha増	○

【凡例】 ◎目標を達成、○目標達成に向けて順調、△目標達成が困難  
※1：平成21年度調査、※2：平成26年度調査

### 3. 現計画の振り返り

#### (6) 百年の杜づくりプロジェクトの進捗状況等

百年の杜づくりPJ	平成30年度までの進捗状況や評価
1) みどりによる津波防災PJ	東部沿岸地域のみどりについて、海岸公園の災害復旧が完了し、海岸林に関しても「ふるさとの杜再生プロジェクト」の取組みにより、市民協働による植樹・育樹の取組みが行われるなど、みどりによる防災意識の啓発が図られた。
2) みどりの骨格充実PJ	法や条例に基づく緑地の担保性の向上が図られるとともに、多自然川づくりや仙台市生物多様性地域戦略(H28作成)に基づく取組みにより、生物多様性保全の推進が図られた。
3) 街のみどり充実PJ	緑化計画に基づく民有地緑化や市民による花壇づくりは着実に実績を重ねたが、都心部における建築物緑化助成制度等の実績は伸び悩んだ。
4) 魅力ある公園づくりPJ	仙台市公園マネジメント方針(H29作成)に基づく取組みが進められたが、利用者ニーズを反映した多様な公園づくり等の取組みに遅れが見られた。
5) みどりの地域資源活用PJ	保存樹木や保存樹林の指定拡大が図られたが、屋敷林や社寺林の保全と活用の進捗に遅れが見られた。
6) 「百年の杜」シンボルエリア形成PJ	青葉山公園、西公園等の大規模公園整備の着実な進捗が図られた。また、広瀬川に関する取組みも新たな広瀬川創生プラン(H26作成)により着実な進捗が図られたが、HPのアクセス数が年々減少している。
7) 市民主体のみどりのまちづくりPJ	各種イベントを通じて、みどりの普及啓発が図られたが、学校の森づくり事業等の一部事業で進捗に遅れが見られた。

## 4.社会情勢の変化など

社会情勢の変化など	(1) 社会状況	少子高齢化の進行, 人口減少社会の到来, 地球温暖化に伴う気候変動, グローバル化の更なる進展, 社会資本の老朽化, 財政制約の深刻化, 国内外の交流人口の拡大, 健康寿命の延伸, ICTの進展 など
	(2) 世界のみどりに関する潮流	SDGsの採択(2015), 仙台防災枠組の採択(2015), パリ協定の発効(2016), 生物多様性に関する評価報告(2019), ESG投資の加速 など
	(3) 国内のみどりに関する法制度・政策等	生物多様性国家戦略(2012), 新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開について(2016), 都市再生特別措置法等の一部改正(2016), 都市緑地法等の一部改正(2017), 森林環境税・森林譲与税等創設(2018), 気候変動適応法施行(2018), 「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりの取組み(2019), グリーンインフラ推進戦略(2019) など

## 5.本市のみどりの特徴

- 東日本大震災により, 東部地域の海岸林や海岸公園, 居久根は甚大な被害を受けたが, みどりが果たす防災上の役割が再認識され, 防災力を高める取組みを進めている
- 西部地域の樹林地と東部地域の農耕地をつなぐように複数の河川が流れ, みどりのネットワークが形成されている
- 市街地では, 緑被率, 都市公園面積, 街路樹本数が政令市の中でも高水準にある
- 歴史的・文化的資源を生かした公園の整備や緑地の保全など, みどりによる仙台らしいまちづくりを進めている
- みどりに関する活動に市民・市民活動団体・事業者・行政が協働による取組みが盛んである

## 6. みどりに関する市民意識

過年度に実施した市民意識調査結果などからの抜粋

設 問	回答割合が高い回答等
本市の施策で評価するものは	百年の杜づくりの取組みが高評価
もっと欲しいと思う身近なみどり	街路樹などの道路のみどり 公園や緑地のみどり
身近なみどりに期待するもの	都市の気温上昇をやわらげる 生活にうるおいを与え心をなごませる
「杜の都」を代表するみどり	定禅寺通 広瀬川
「杜の都」として必要なみどり	街路樹などの道路のみどり 公園や緑地のみどり
みどり豊かなまちづくりのための活動に参加するための条件	活動のための時間や期間を自由に選べること 同じ目的を持った仲間がいること
市民・事業者・行政がお互いに協力していくために必要な事項	緑化に取組みやすくなるような政策づくり 市民への情報提供の充実

13

## 7. 現計画改定の視点(案)



### 【現計画改定の視点(案)】

#### ① 現計画の基本理念の継承

基本理念「みんなで育む『百年の杜』」を継承し、多様な主体との連携により、東部地域のみどりの再生やよりみどり豊かな都市づくりに取り組むこと

#### ② みどりの多機能性の発揮

防災や生物多様性保全などのみどりが有する多様な機能を生かすことで、地域の魅力向上や課題解決に貢献すること

#### ③ みどりの適正な維持管理及び資産としての積極的な活用の推進

みどりの適正な維持管理を行い、資産として最大限に活用することで、地域のにぎわい創出及び都市ブランドとしての強化を図り、国内外に発信すること

14

## 8. 今後のスケジュール・専門部会の設置(案)

